

国際協力研修
「水道管理行政研修及び水道事業経営研修（B）」
(Comprehensive Engineering on Water Supply Systems)
(実施期間：2019年11月19日)

1. 本研修の概要

本研修では、海外の水道行政あるいは水道事業体において、上水道システム計画に従事するマネジメント層や中心的技術者を対象に、これまでの日本の上水道に関する知見を生かし、安全な水道水を安定的に供給するための水道管理及び事業経営を行うための総合的な知見を高める。またここで得られた知見を活用し、自らの水道事業体が抱える課題を明確化し、その解決に関するフィードバックレポートを作成する。なお、本研修は、国際厚生事業団が受託し、2019年11月11日から11月22日に、国内の関連機関、水道事業体等と連携して研修を実施している。

2. 実施方法

本研修については、10年ほど前からTIC（JICA東京国際センター）において、講義、ワークショップ対応等の対応を行ってきた。本年は、11月19日に当院の本館棟において水安全計画に関する講義、ワークショップ（グループワーク）、別館棟において見学を実施した。講義のあと、質疑や見学、グループワーク、発表が活発に行われた。プラント、実験室の見学もあり、多くの質疑が行われた。浄水技術と水安全計画の関連性を考えることができたと好評であった。

3. 対象国

カンボジア（2）、ホンジュラス（1）、ラオス（1）、ミクロネシア（1）、ミャンマー（1）、フィリピン（2）、セントルシア（1）、サモア（1）、ベトナム（1）の計11名。なお、当研修は日本の水道事業体等の職員が将来の専門家派遣を想定して経験をつむ目的で海外研修員と一緒に研修参加しているため、参加者はあわせて合計23名となった。



講義風景



浄水プラント見学



水安全計画に関する発表



全体写真